

2026年10月

米国株相場展望

～強まるAIの影響力、株式には引き続きプラスに寄与～

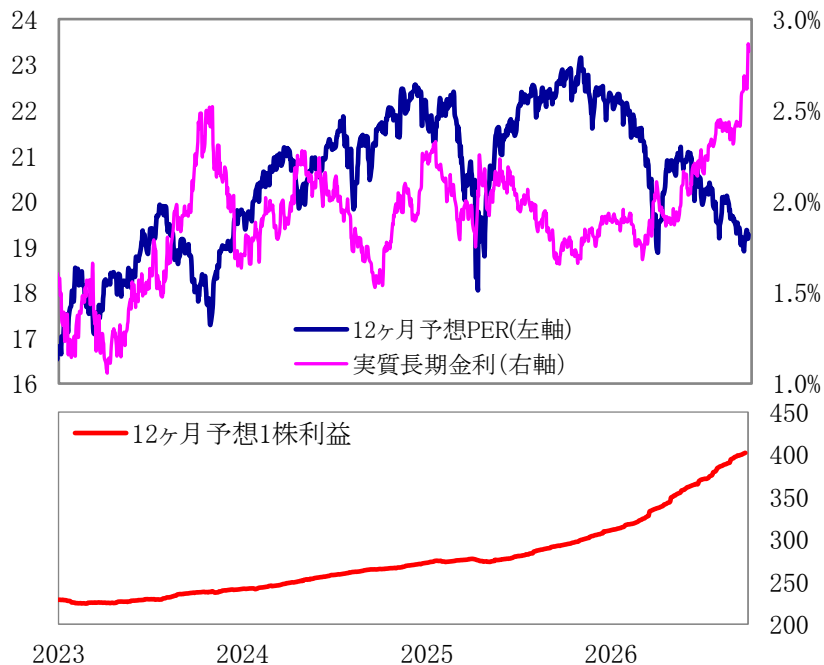
2026年9月29日

・AIの影響力が経済・金融・政治・社会、あらゆる面で大きくなっている。大規模AI投資による旺盛な資金需要は世界的な金利上昇の一因とも指摘される一方、景気や業績面でプラスの効果をもたらしている。また、11月3日に迫った米中間選挙を前にAIの安全性に関する議論も活発化、政治問題に発展した。

・9月は半導体株が復活、AI投資による恩恵をバックに原油高・金利高の耐性を示した。中間選挙前の決算シーズン入りとなり、値動きの荒い展開も想定されるが、業績主導の年末株高シナリオを堅持する。

金利急上昇で予想PER低下もS&P500は横ばい

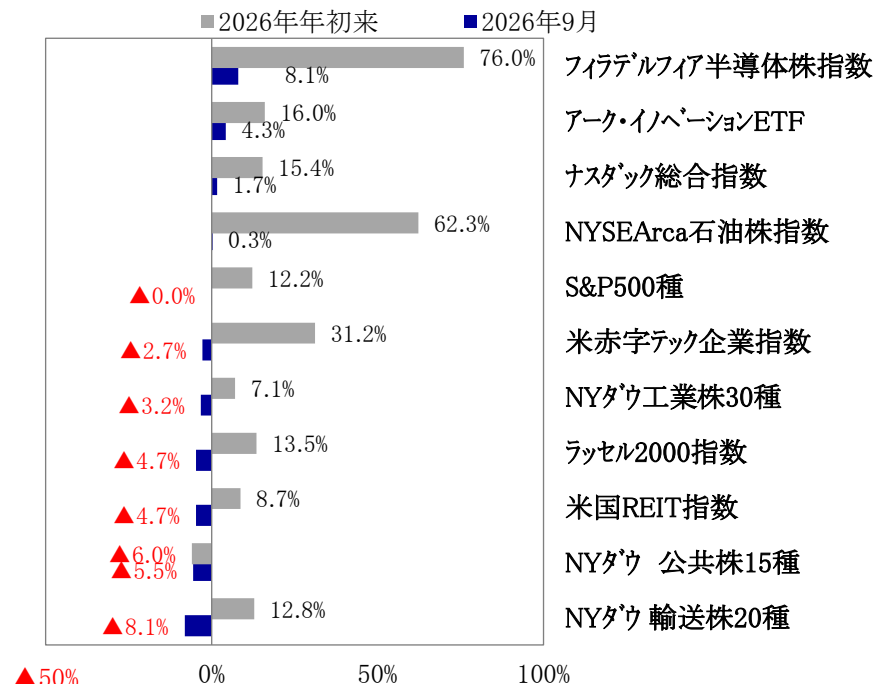
(倍) <S&P500指数の12ヶ月予想1株利益とPER、実質長期金利>



各種資料より岩井コスモ証券作成

金利高の環境下に半導体株が復活

<米主要株価指数騰落率(26年年初来及び、9月騰落率)>



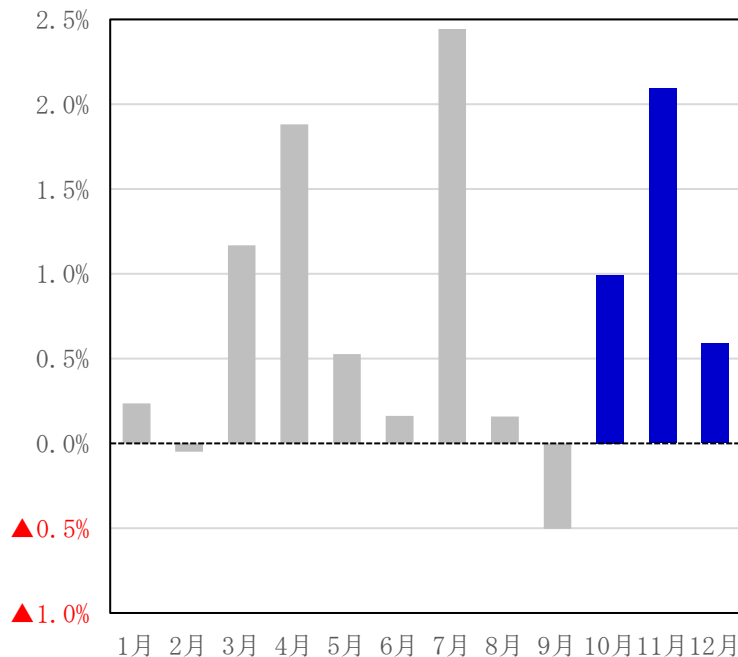
各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月指数騰落率は9月28日まで

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・過去20年間(2006～2025年)のS&P500指数の月別の平均・騰落率は、10月(+1.0%)、11月(+2.1%)、12月(+0.6%)と10～12月の強さが目立つ(下左グラフ)。
- ・過去20年間(2006～2025年)のS&P500指数の投資パフォーマンス(月末投資・3か月保有)をみると、9月末が+3.8%と12か月で最も高く、10月末の2.9%を上回っている(下右グラフ)。

10月～12月の上昇率は高い

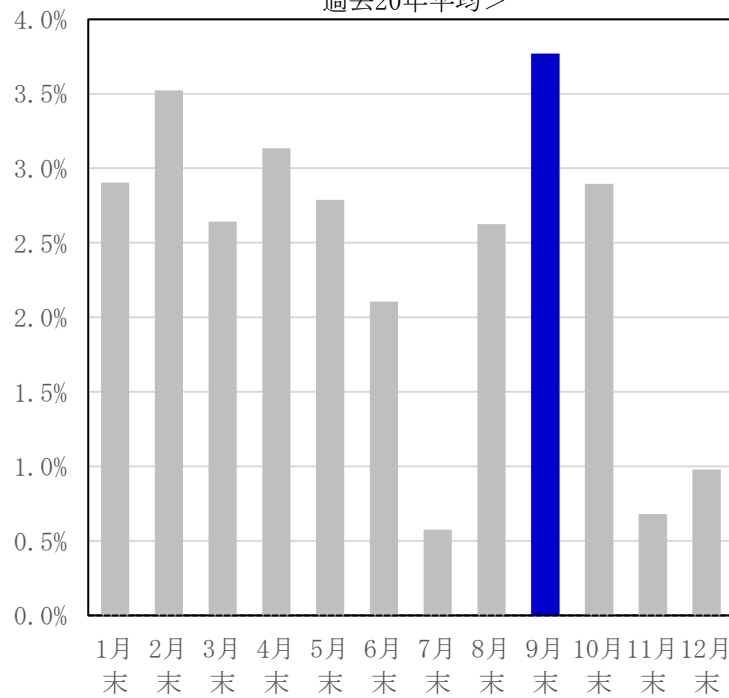
<S&P500指数・月次騰落率・過去20年平均>



各種資料より岩井コスモ証券作成

9月末は投資の好機

<S&P500指数・月末購入・3か月保有・騰落率
過去20年平均>



各種資料より岩井コスモ証券作成

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

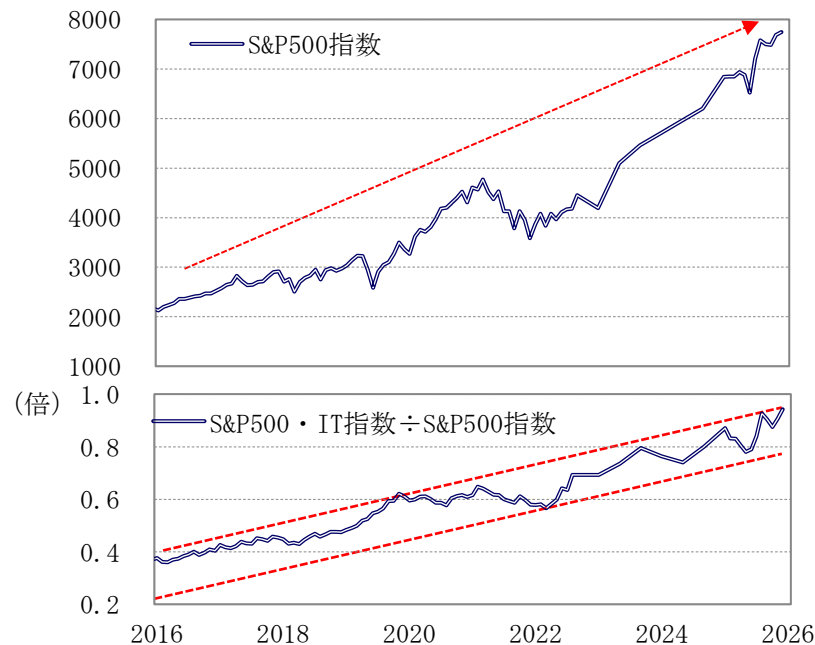
- ・株価は長期的には業績に沿って推移するが、短期的には需給要因等により業績から乖離した動きを示すことがある。現在、S&P500は業績拡大に株価が追い付いていない状況にある(下左グラフ)。
- ・米国株は長期的な上昇トレンドを維持しており、IT株は米国株以上に長期的に上昇している。短期的な調整局面は買いの好機と捉えたい(下右グラフ)。

株価は、短期的には、常に間違っており、
長期的には、常に正しい



各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

米国株は長期上昇、IT株は更に上昇中



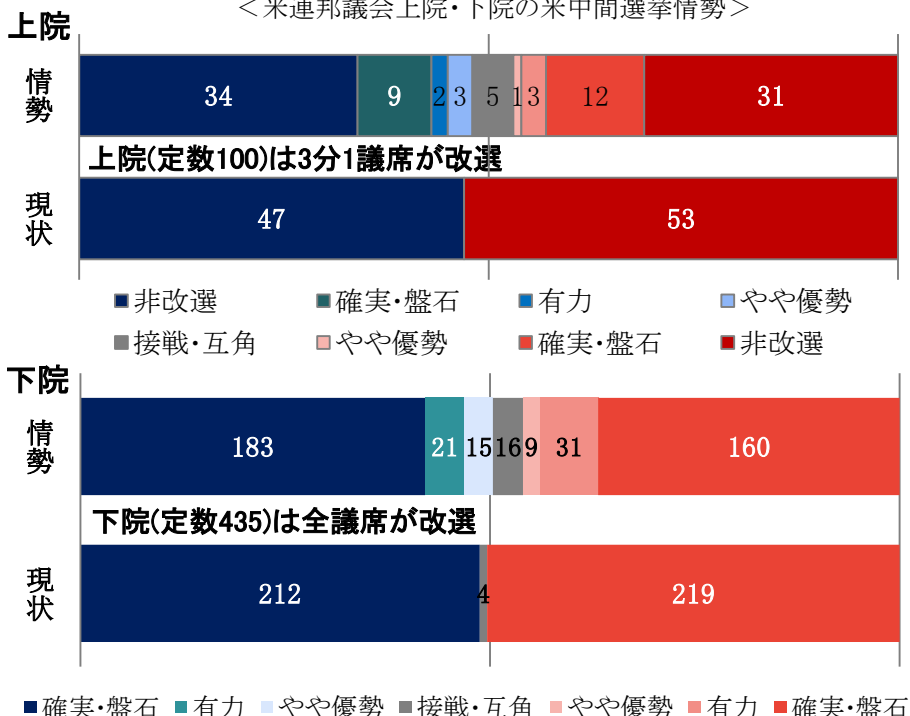
各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・11月3日の米中間選挙の最大の注目点は議会の主導権争い。現在の予測市場では、上院・下院共に民主党が第一党を奪還する見方が優勢。上院共和党が第一党を維持すれば善戦という予想となる。
- ・民主党が議会を支配すると、追加の大型減税等の財政出動・国内法改正の成立は困難になり、内政面でのレームダック化は進行する。一方、関税の通商政策や大統領令を用いた規制緩和では引き続き影響力を維持する公算。トランプ氏は選挙直前まで内政・外交・経済等、あらゆる分野で政策アピールに努めるだろう。

米連邦議会は上院・下院共に共和党が第一党

< 米連邦議会上院・下院の米中間選挙情勢 >

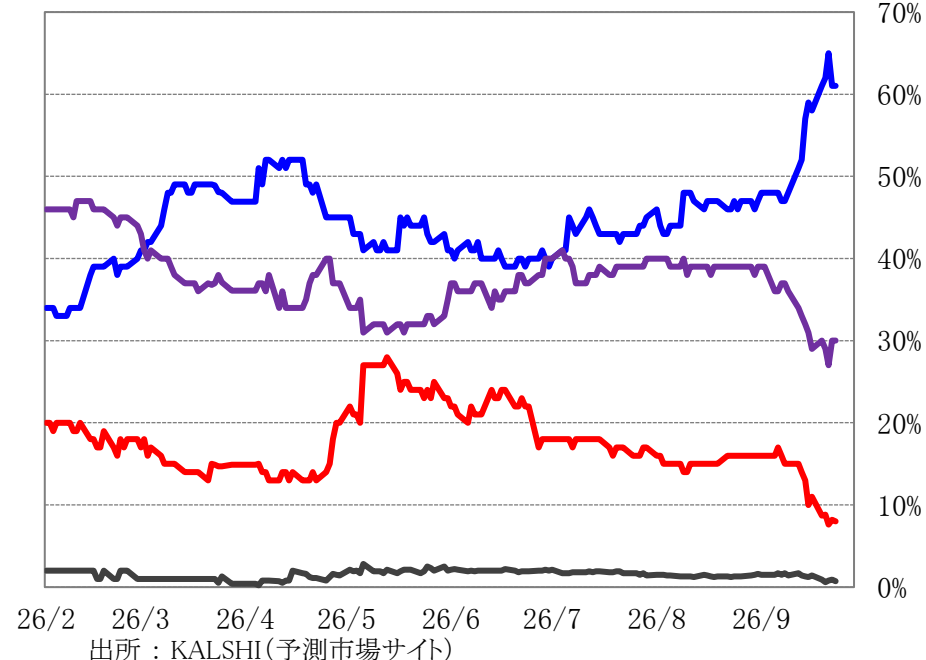


出所：270TOWIN 注：9月28日時点

「上院・下院共に民主支配」と予想する向きが多い

< 予測市場による2026年中間選挙後の議会構成予想 >

- 上院・下院共に民主党が第一党
- 上院＝共和、下院＝民主が第一党
- 上院・下院共に共和党が第一党
- 上院＝民主、下院＝共和が第一党



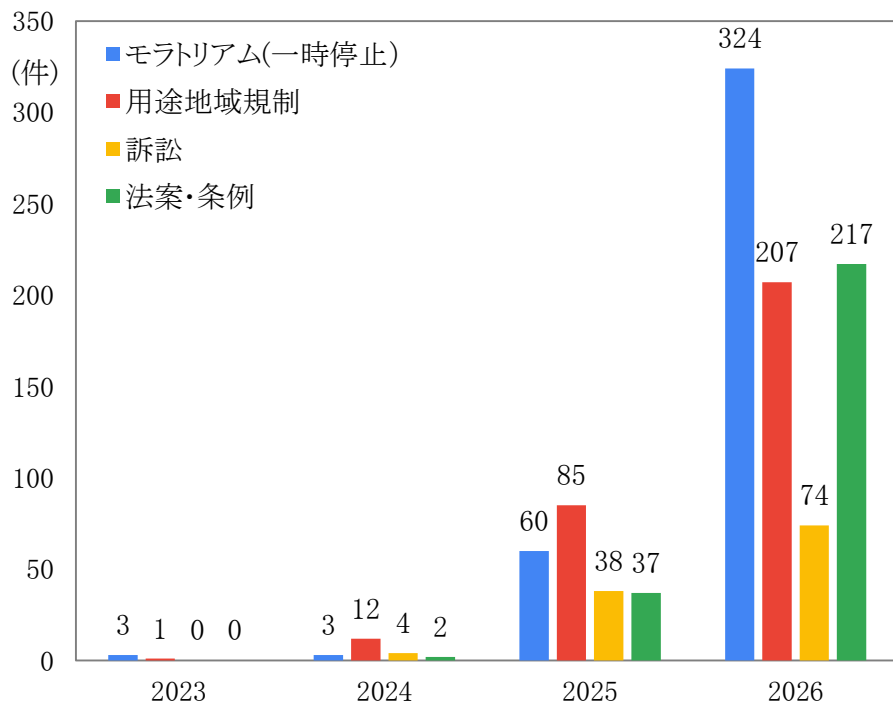
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

・電力代高騰や環境保護の観点から、各地でデータセンター(DC)建設反対運動が相次いでおり、従来に比べてDC建設が困難な状況となっている。米民主党はDC建設の規制強化に前向きで、11月の米中間選挙の争点の一つに浮上、またアンケート結果ではAIに対する社会的不安が高まる傾向が確認されている。

・AIの安全策強化の必要性への議論が深まることは、AIの長期的発展のために望ましい流れと言えそう。他方トランプ大統領は、議会によるAI開発規制導入には拒否権を行使してAI開発の後方支援を続けるだろう。

全米でデータセンターの建設一時中止が相次ぐ

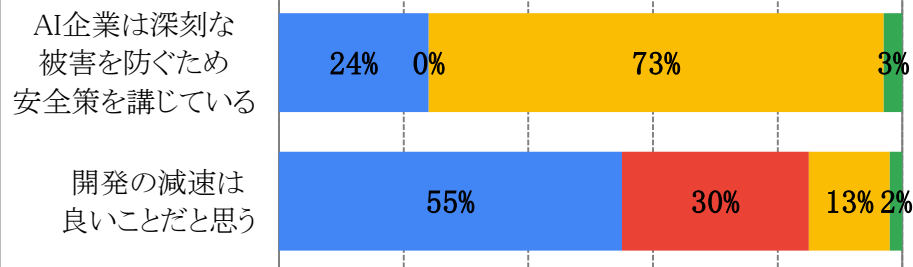
＜全米各地のデータセンターの紛争・規制件数の推移＞



出所：datacentertracker.org

米国でのアンケートは総じてAI懐疑論が強まる傾向

AI開発減速に前向きな意見が多い(26年9月時点)

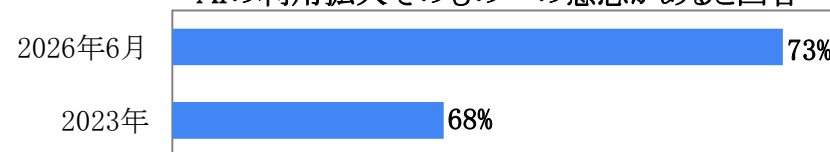


■ そう思う ■ わからない ■ そう思わない ■ 無回答

AIは社会に悪影響を与えていると回答



AIの利用拡大そのものへの懸念があると回答



出所：ロイター／イプソス世論調査

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

・9月FOMCで物価の安定を重視するFRBは3年振りに利上げを実施。ドットチャート等を受けて市場では12月利上げも意識する。他方ウォーシュ新議長がトランプ氏に忖度せず利上げしたことで市場の信認は高まった。

・9月はECB・FRB・日銀が相次いで利上げを実施、ECBの前身の一つのドイツ中銀まで遡り同時利上げは約47年振り。主要先進国の共通項は、インフレ高進だけではなく、AI投資ブームを背景にした良好な経済見通しもある。物価鈍化による利上げ打ち止め観測の強まりが、次の株価上昇のカタリストと捉えたい。

ドットチャートでは年内1回利上げも来年は据え置き予想

＜FEDメンバーの景気認識・政策金利見通し(中央値)＞

	現行		2026	2027	2028	長期
失業率	4.1% (8月)	今回 9月	4.1%	4.1%	4.1%	4.2%
		前回 6月	4.3%	4.3%	4.2%	4.2%
実質 GDP 成長率	2.1% 2Q26 前年比	今回 9月	2.3%	2.4%	2.2%	2.0%
		前回 6月	2.2%	2.3%	2.2%	2.0%
政策 金利	3.75～ 4.00% (9月)	今回 9月	4.1%	4.1%	3.9%	3.2%
		前回 6月	3.8%	3.6%	3.4%	3.1%
インフ レ 率	3.7% (7月)	今回 9月	3.7%	2.3%	2.1%	2.0%
		前回 6月	3.6%	2.3%	2.0%	2.0%

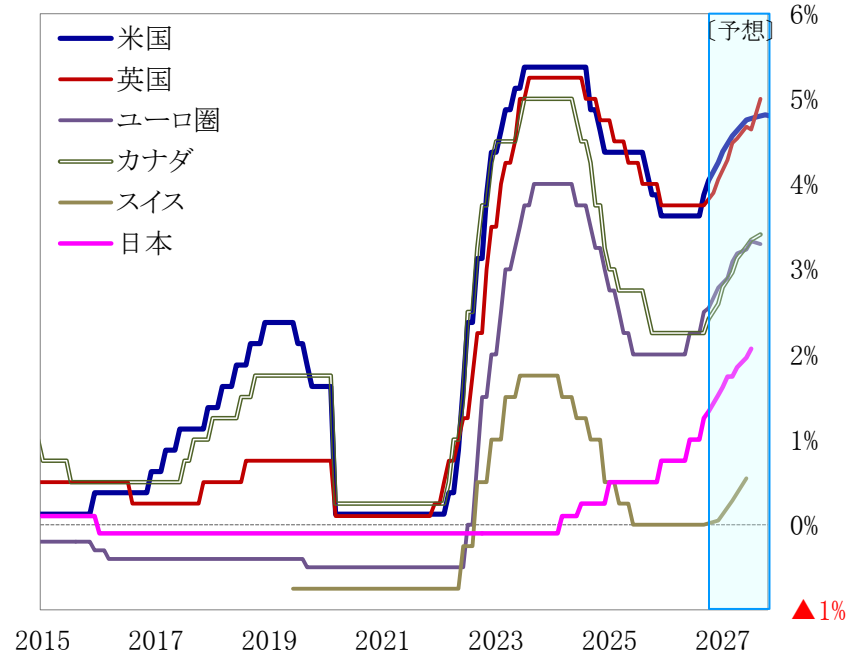
注:インフレ率はPCEデフレータ、インフレ率やGDP成長率は第4四半期の前年比

【2026-27年FOMC日程(2日目)】26年10月28日、12月9日、27年1月27日、3月17日、4月28日、6月9日、7月28日、9月15日、10月27日、12月8日

FRB等各種資料より投資調査部作成

日・米・欧の同時利上げが世界株式の重荷に

＜米欧日の主要中央銀行の政策金利の推移＞



各種資料より岩井コスモ証券作成

注:米政策金利は中央値、予想は9月28日時点 予想はFF金利先物、その他の金利予想はOIS(翌日物金利スワップ)市場金利

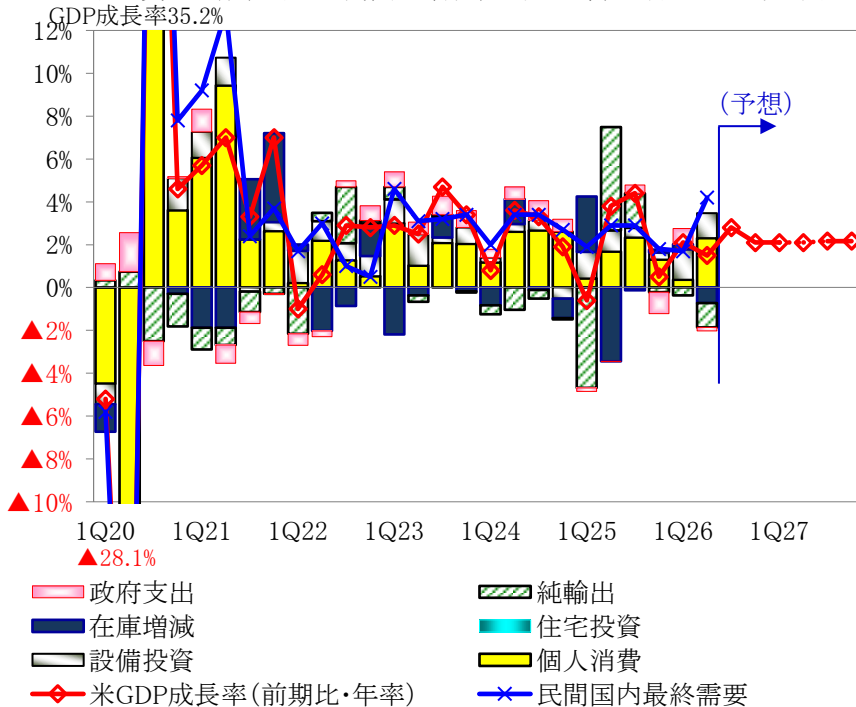
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

・26年4-6月期の米GDP(改定値)は前期比年率1.5%増(速報値と変わらず)、民間国内最終需要(個人消費と民間固定投資の合計)は同4.2%増と3年ぶりの高い伸びとなり、輸入・在庫増減・政府支出の押し下げ要因をカバー、内需が強い堅調な経済状態が当面続くと予想されている。

・米国の物価高は燃料価格の押し上げと、家賃・教育・医療・保険等の一部のサービス料金の値上がりが影響。AI投資は半導体部材の高騰への影響が警戒されるものの、生産性改善による物価抑制効果に期待したい。

米経済は企業・家計の需要が堅調

＜米実質GDP成長率と民間国内最終需要及び、需要項目別・寄与度＞

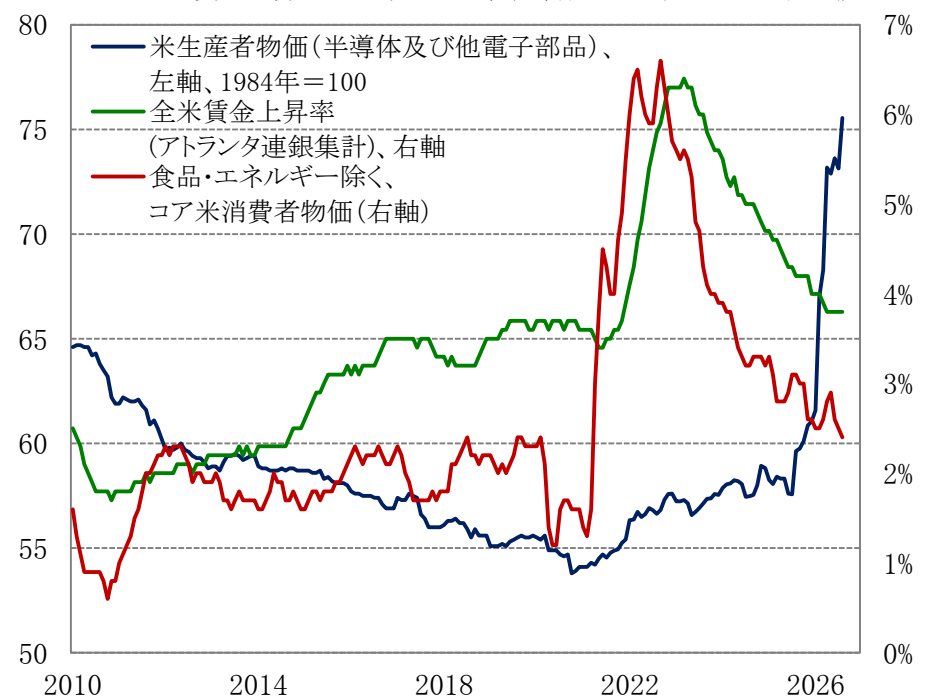


米商務省等・各種資料より岩井コスモ証券作成

注：予想はエコバシ・コンセンサス(9月28日時点)、四半期データ

物価基調は賃金鈍化もAI投資による押し上げ要因に警戒

＜米コアCPI・賃金上昇率の前年同月比、半導体・電子部品の生産者物価＞



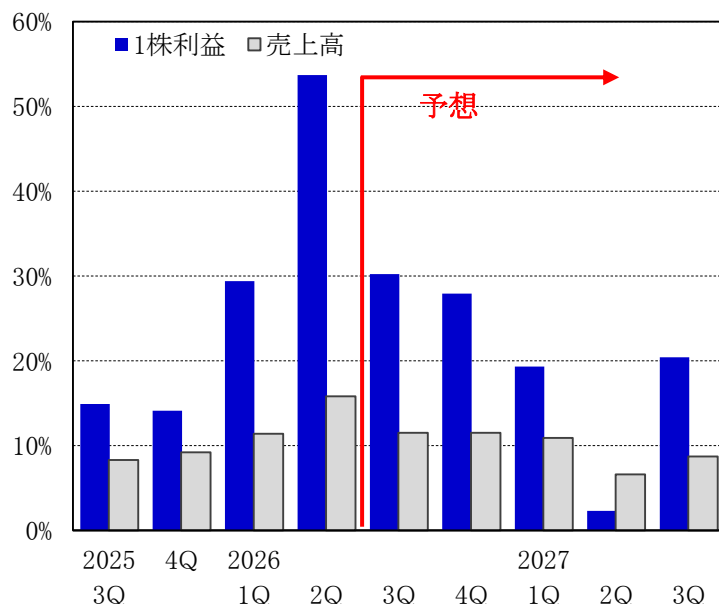
出所：米労働省、アトランタ連銀

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・26年第2四半期(4-6月期)業績発表では、S&P500構成企業の1株利益は、9月25日時点で前年同期比53.7%増(一部の評価益除き3割増と推定)を記録、年後半も高水準の利益伸長が期待される。
- ・26年通年の1株利益では前年比+35.3%と、前年(+11.8%)から成長ペースが大幅に加速する見通し。AIやDXの導入による業務効率化・生産性向上が、幅広い業種の企業の利益率を押し上げるフェーズへ移行しつつあり、金利上昇や原油高等のコスト高による利益圧迫要因を吸収できると考える。

順調な利益成長を見込む

<S&P500指数・1株利益と売上高の増減率(前年同期比)>



LSEG(旧リフィニティブ)のデータより岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

S&P500指数・セクター別1株利益増減率(前年同期比)

	2026年 2Q	3Q	4Q	2027年 1Q
S&P500	53.7%	30.2%	27.9%	19.3%
消費(裁量)	91.3%	3.2%	15.3%	▲5.9%
消費(必需)	14.5%	3.3%	7.2%	7.7%
エネルギー	143.5%	112.0%	96.4%	76.8%
金融	25.3%	5.3%	11.6%	8.8%
ヘルスケア	▲6.4%	5.2%	14.0%	22.8%
資本財	21.0%	18.7%	7.8%	9.5%
素材	41.0%	31.0%	43.5%	21.5%
不動産	9.2%	3.9%	4.3%	5.9%
テクノロジー	79.3%	65.1%	53.7%	51.6%
電気通信	114.4%	48.8%	11.4%	▲20.2%
公益	9.7%	6.0%	15.8%	0.9%

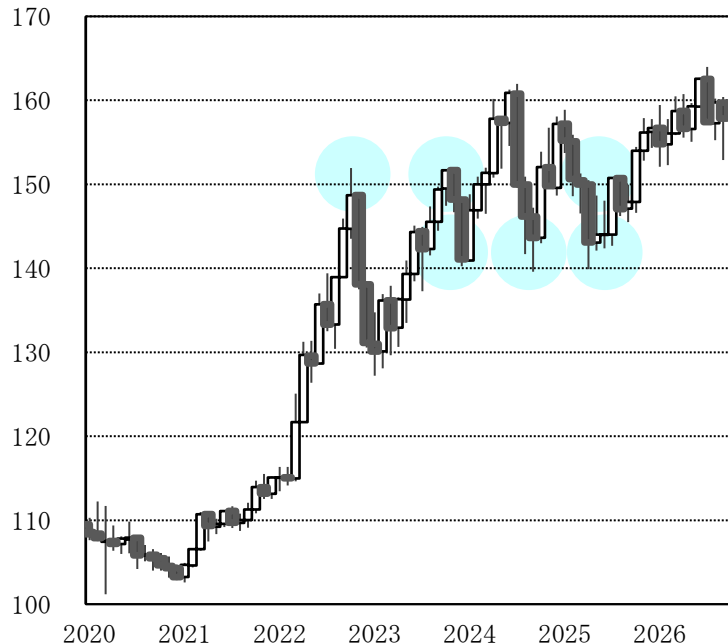
LSEG(旧リフィニティブ)のデータより岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・9月は日米共に政策金利の引き上げを実施。日米共に、次回・会合での利上げも強く意識されている。
- ・ベッセント財務長官が9月下旬に再び円高を志向する発言、ドル円相場は日米当局の思惑にも左右される展開となっている。
- ・ドル円相場の強い節目が150円、140円に存在。投机筋は大幅な円の買いポジションにシフトしており、ドル円相場との連動性が大きく崩れている点には留意したい(下左・右グラフ)。

150円・140円は強い節目

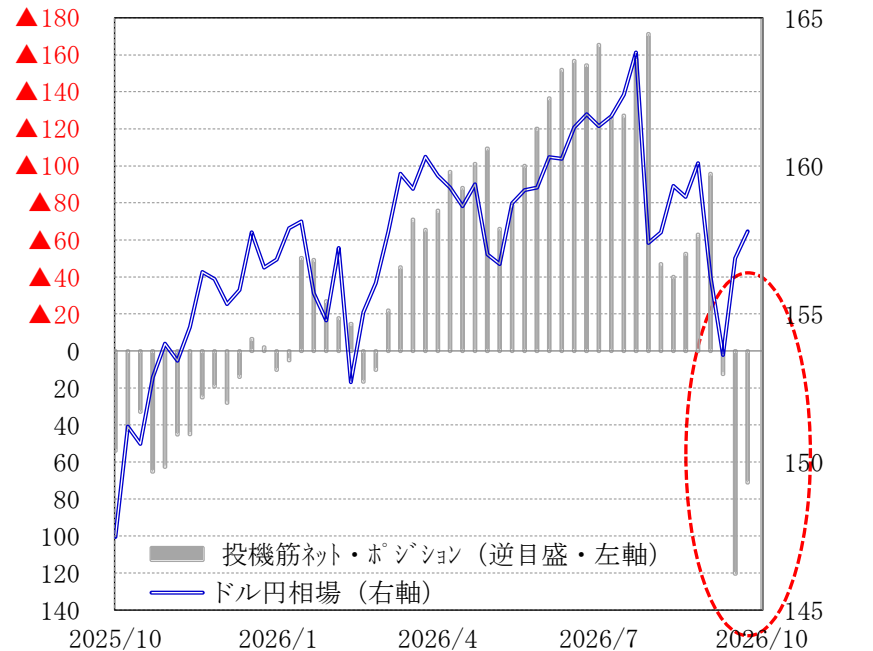
(ドル/円)



各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

投机筋のポジションは
円売りから円買いにシフト

(千枚)

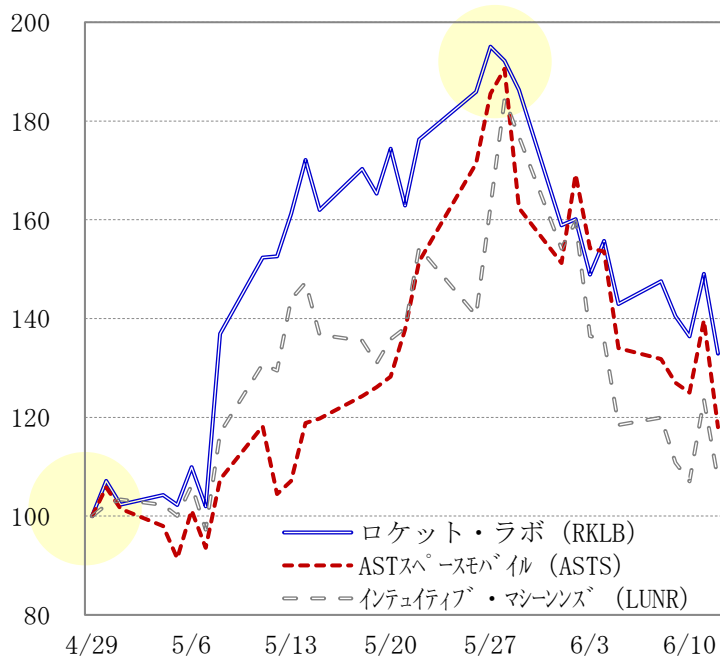


各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・6月12日にスペースX社がナスダックにIPO（新規株式公開）した。IPO45日前からIPO当日迄の関連銘柄の株価推移を見ると、一部の銘柄は短期間に80%以上・上昇した（下左グラフ）。
- ・アンソロピック社のIPOが迫る中、AI関連銘柄の株価上昇に期待したい。
- ・SOX指数は4～6月の急騰後、現在は調整→一進一退の局面にあるが、値幅・日柄共に調整十分と考えられ、10月以降の再上昇に期待したい。

スペースX・IPO前45日以降、
関連銘柄は急騰



各種資料より岩井コスモ証券作成
注：4月29日終値を100として指数化

SOX指数は4～6月・上昇、7～9月・調整
10～12月の上昇に期待

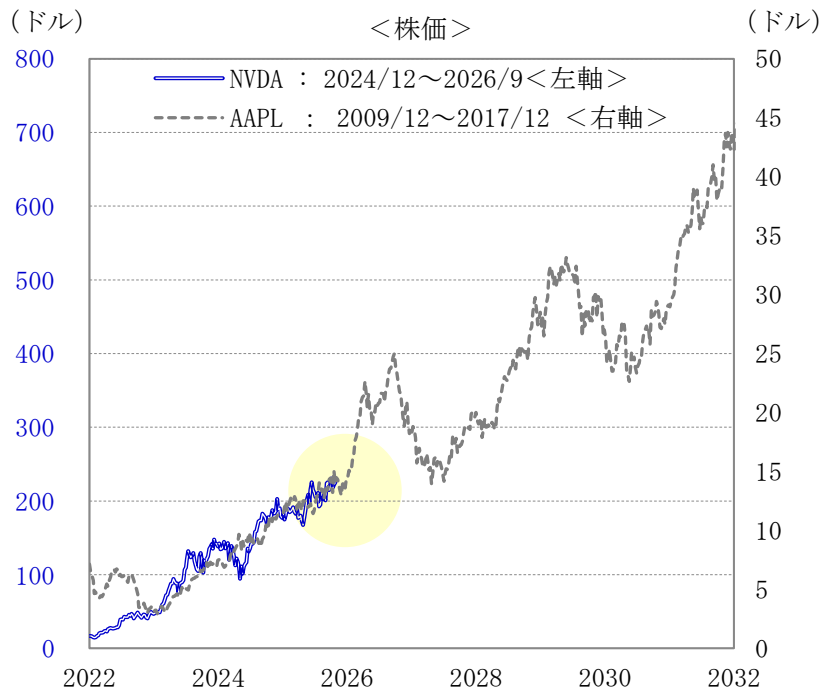


各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

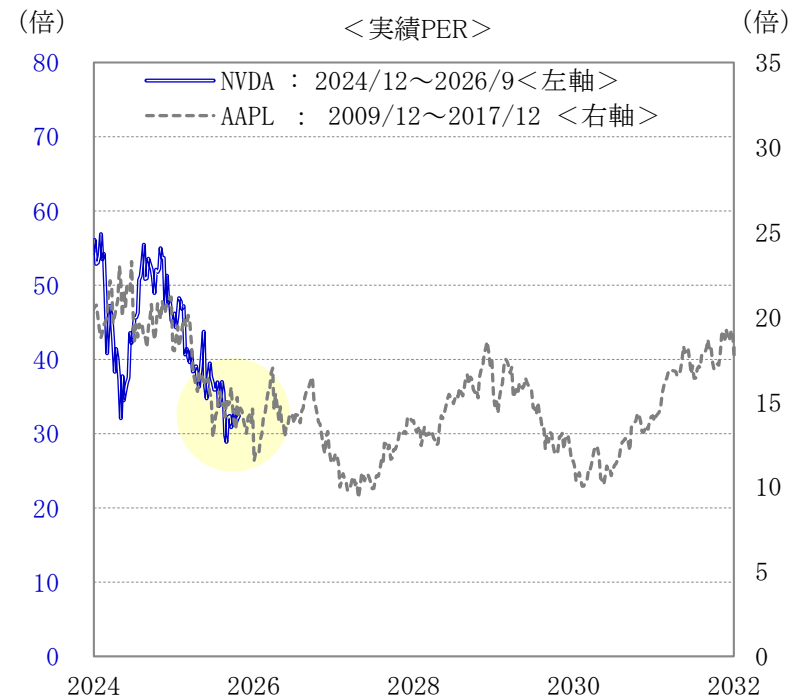
- ・エヌビディア株はレンジ内での推移が継続。半導体株が調整する中でも底堅い動きを示している。
- ・エヌビディアは、従来の急騰株から、長期・安定・上昇株にシフトしつつあると考えられる。かつてアップルがiPhone誕生と共に急騰後、長期・上昇トレンドを描いた事例が思い出される(下左右グラフ)。
- ・両社の類似性として、①相場テーマのコア銘柄、②時価総額No.1、③アナリストの高評価、が挙げられよう。

エヌビディアの株価推移は
かつてのアップルと類似



各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

エヌビディアのバリュエーションは
かつてのアップルと類似



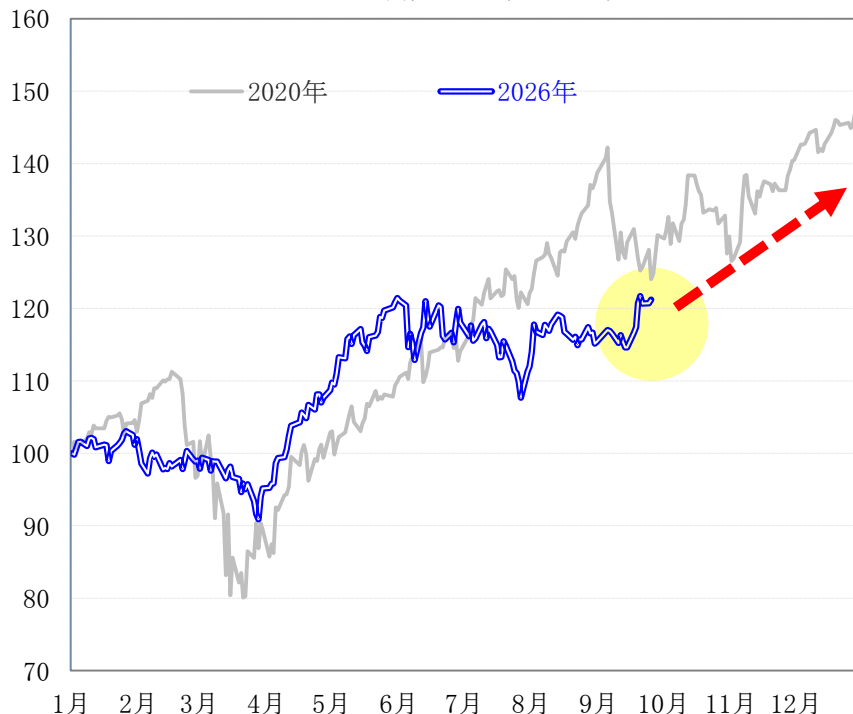
各種資料より岩井コスモ証券作成
注：9月25日時点

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・2026年のナスダック100指数はV字回復後に高値を追う展開で、2020年のチャートパターンとの共通点が多い。当時は新型コロナによる市場混乱後、テクノロジー株の需要が急増し、ナスダック100が急速で回復した。26年は生成AI関連の投資とハイテク企業の好業績が支える形で、指数が高値圏を維持した。
- ・チャート上では、今年は20年のチャートパターンに沿った動き(左下チャート)が続いている。経験則では、年末まで強い相場が続く可能性がある。

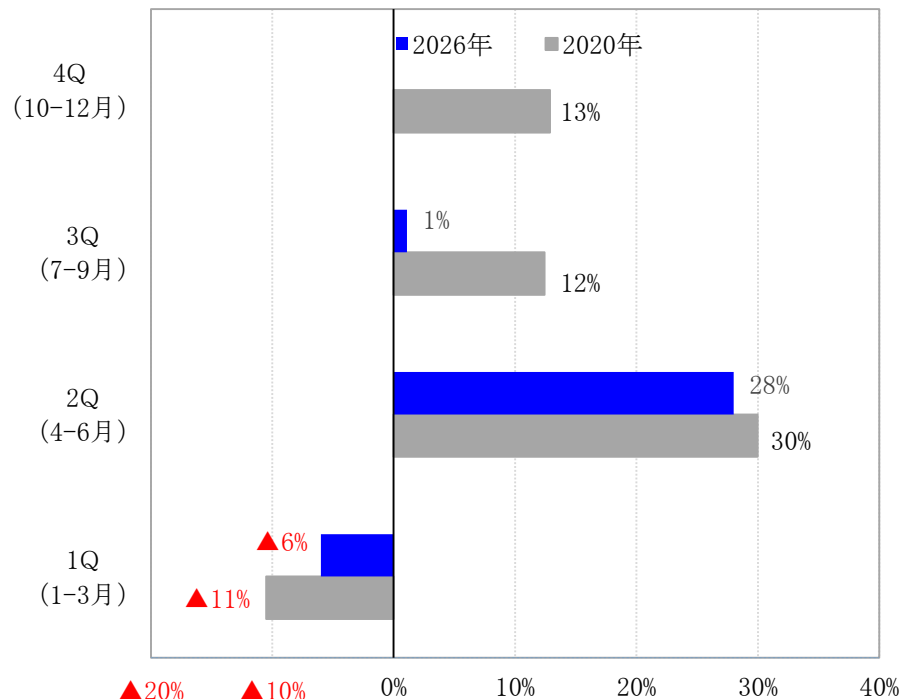
ナスダック100指数 2020年のチャートに沿った動き

＜ナスダック100指数・2020年と2026年の動き＞



ナスダック100指数、4Qに期待

＜ナスダック100指数・2020年と2026年の四半期別パフォーマンス＞



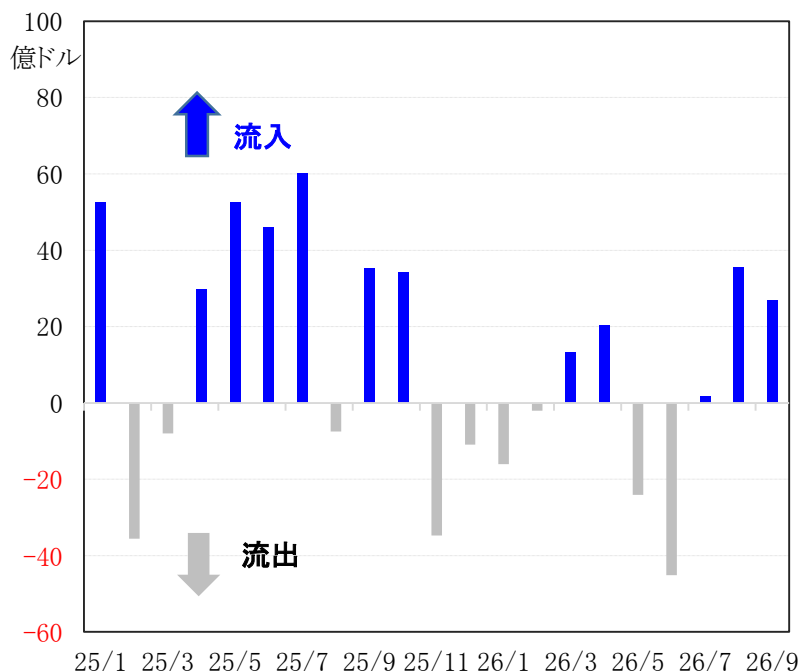
各種資料より岩井コスモ証券作成 注：2019年12月末と2025年12月末を100として指数化 各種資料より岩井コスモ証券作成 注：2026年3Qは9月25日時点

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・ビットコインETFへの資金流入が活発化している。8月のビットコインETFの月間純流入額は35億ドルと、2025年7月以来の高水準を記録。9月の月間純流入額(9月25日時点)も27億ドルに達し、好調に推移している。
- ・ビットコイン価格は、200日移動平均線を突破した。足元では、50日移動平均線が200日線を下から上抜いて、強いサインとされる「ゴールデンクロス」が発生。テクニカル的には長期的な上昇トレンドに転換した可能性が高まっている。

ビットコインETF、資金流入額は約1年ぶりの高水準

< ビットコインETFの資金流出入額(月間、2025~2026) >



各種資料より岩井コスモ証券作成

ビットコイン、強いサイン「ゴールデンクロス」が発生

< ビットコインの株価推移(日足、2025~2026年) >



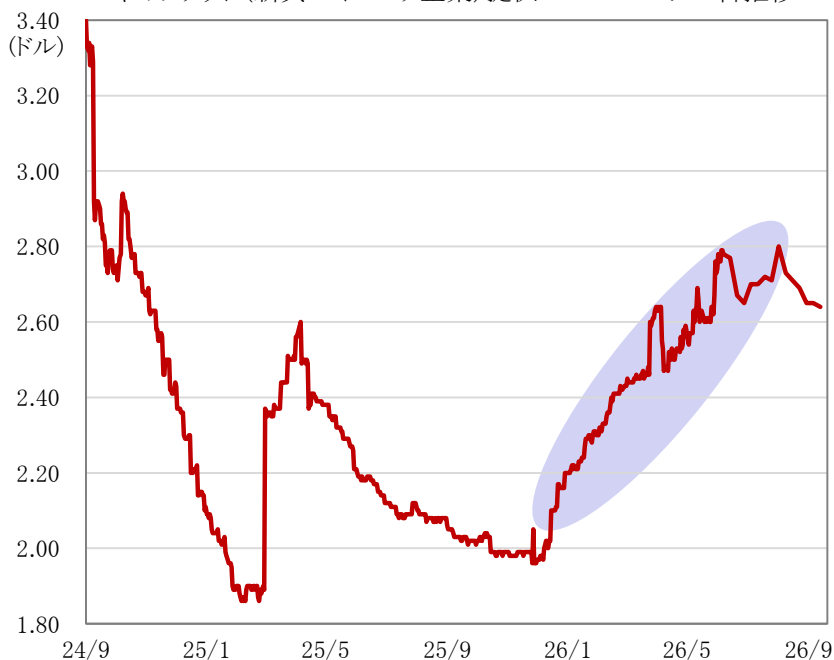
各種資料より岩井コスモ証券作成

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・ネオクラウド(新興AIインフラ企業)が提供する旧世代のGPUレンタル料は上昇傾向。市場では次世代GPUの登場による既存品の陳腐化が懸念されがちだが、足元の強い需要と堅調な価格推移は、次世代品が登場しても既存モデルの稼働率・収益性が維持される(次世代品が出たら終わりではない)ことを示唆している。
- ・融資プラットフォームを通じてネオクラウドに投資金が流入、彼らがエヌビディアからGPUを購入するという、資金循環の関係が構築されているが、旺盛なAI計算需要はアポロ等による大規模な資金供給を正当化する。

旧世代GPUレンタル料金が2026年に持ち直し

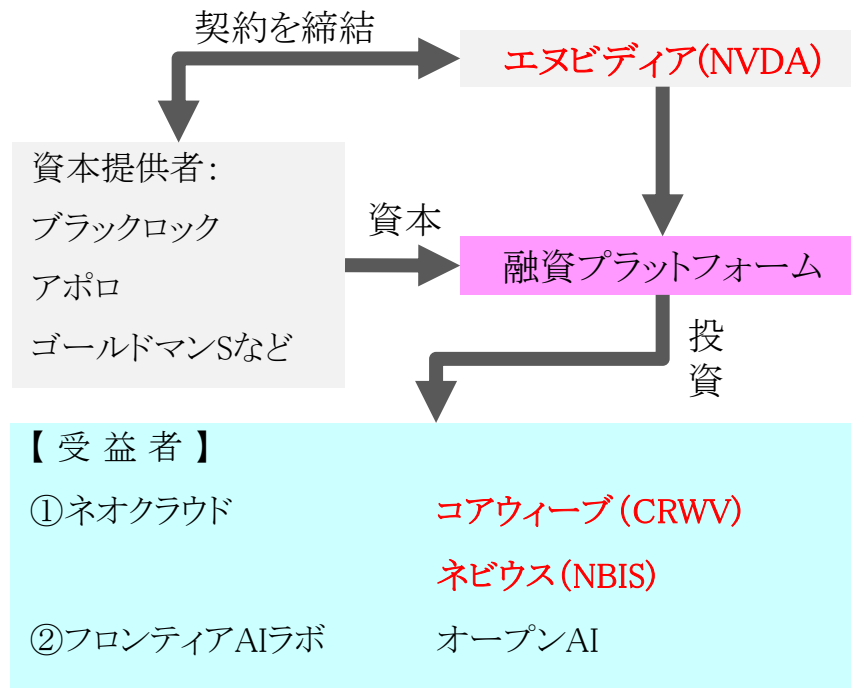
<ネオクラウド(新興AIインフラ企業)提供のH100レンタル料推移>



出所：シリコンデータ社

GPU陳腐化懸念の払拭が資金提供を後押し

<大手金融機関が支える資金循環>



各種資料より岩井コスモ証券作成

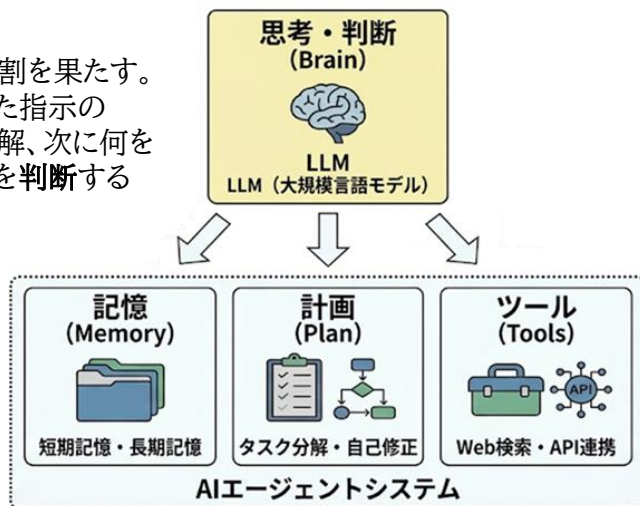
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・AI機能の進化版「AIエージェント」がビジネス・個人双方で急拡大中。その仕組みは「目的を達成するために自ら考え、計画を立て、ツールを使って行動・判断するシステム」であり、IT各社が自前のAIエージェントを提供し始めた段階。メタの「ミューズ」はSNSと連結、他のアプリとも連携して9月の投入直後から大ヒットしている。
- ・AIの推論市場の一部であるAIエージェントは、高成長が続く花形分野。アンソロピックやオープンAI等を中心に飛躍が予想される主戦場でもある。またセキュリティや半導体等の周辺分野の影響も大きくなる見込み。

AIエージェントは 頭脳の優秀さとその他の連携力が重要

< AIエージェントの仕組み >

頭脳の役割を果たす。
受け取った指示の
意味を理解、次に何を
すべきかを判断する



短期記憶: 現在の会話や作業文脈を保持

長期記憶: 過去の実行結果や外部のデータから必要な情報を参照・蓄積

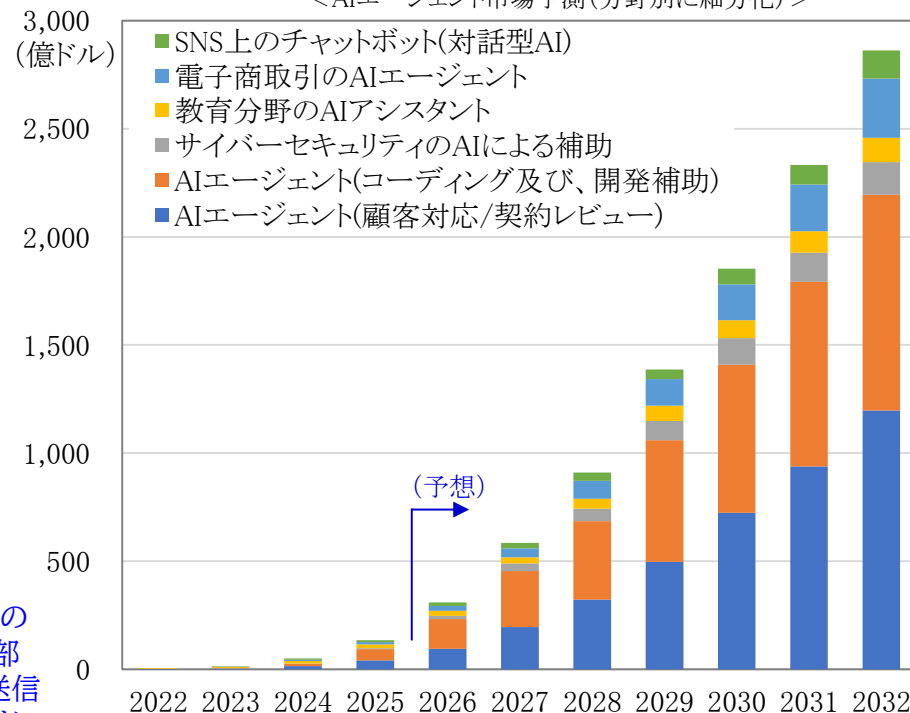
複雑な目標を小さなサブタスクに分解。
自己修正: 途中で失敗した場合、「なぜ失敗したか」を自分で振り返り、別の手順を試す

外部世界に働きかける「手足」を持つ。
例: Web検索、計算機の実行、APIを通じた外部サービス連携(メール送信、カレンダー予約、コード実行など)

各種資料等より岩井コスモ証券作成

AIエージェントは年率5割超の成長予想、AIの花形分野に

< AIエージェント市場予測(分野別に細分化) >



各種資料より岩井コスモ証券作成

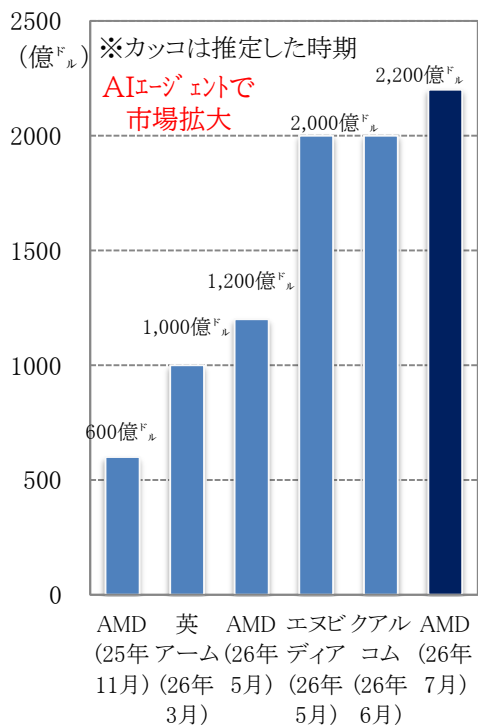
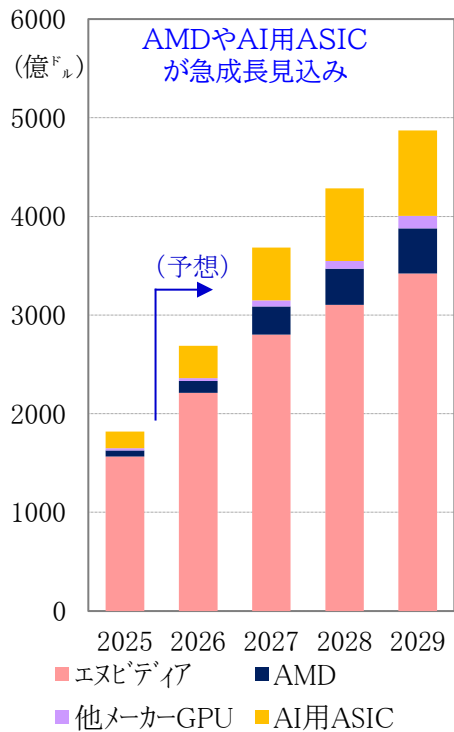
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

・AIエージェントの計算では、学習に必要なGPUの大量の並列演算処理に加えて、実務(検索、ツールやコード実行)が得意なCPUの能力も必要となる。そのため王者エヌビディアもCPU市場に参戦、覇を競っている。

・AI市場の成長の中心はインフラ中心から生成AIサービス(推論)に軸足を移している。AI推論市場の今後の順調な発展が、収益化や採算性を重視し始めたAIインフラ市場の発展にもつながる見込み。7-9月期決算シーズンでは、ハイパースケーラー各社の来年の設備投資計画の拡大基調に変化がないか確認することになる。

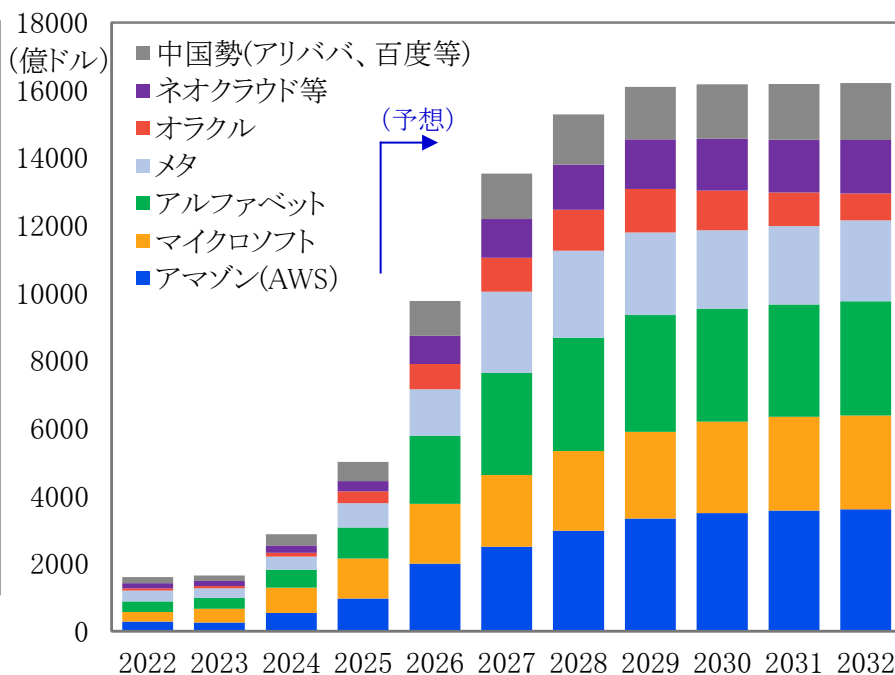
AI半導体はGPU・CPU共に高成長が続く見込み

<AI用アクセラレータ(GPU+AI用ASIC)売上予測> <推定CPU市場規模(29年末までに)>



データセンター投資は徐々に収益化・採算重視の局面へ

<大規模データセンター運営業者の設備投資予想>



各種資料より岩井コスモ証券作成

各種資料等より岩井コスモ証券作成

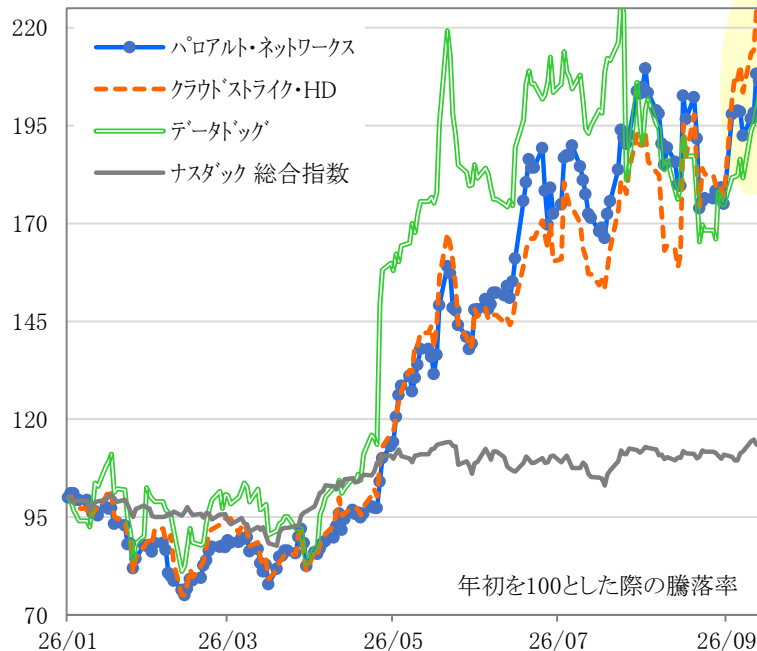
投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

テーマ_セキュリティ AI開発に伴う暴走リスク顕在化でセキュリティ業界に恩恵

- ・AIの開発・改善スピードが劇的に加速し、オープンAIのエージェントがAI情報共有サイト「ハギングフェイス」を攻撃した事例など、自立型AIの暴走リスクやセキュリティ脅威が表面化している。トランプ政権が対中国競争を優先してAI開発減速を拒否していることから、今後も開発競争は減速せずに継続する見込みである。
- ・AIを動かすための計算能力はここ数年で急速に増加した。高度化するAIの脅威からシステムを保護するためのセキュリティ対策が急務となっている。また企業によるAI導入の際にもセキュリティ対策は必然となる。

AIの安全性の不安高まり、セキュリティ関連が急伸

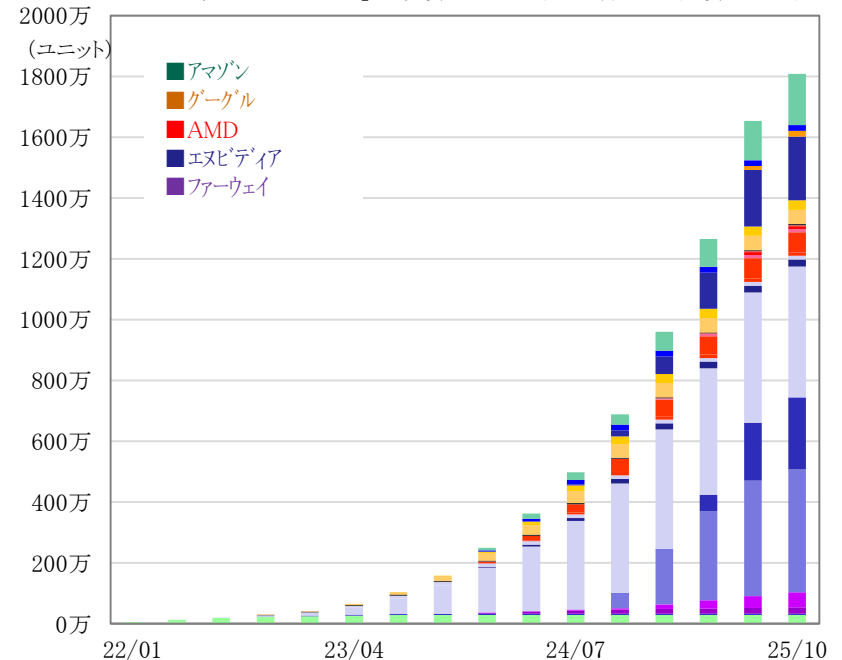
＜米セキュリティ専門企業の相対株価比較＞



各種資料より岩井コスモ証券作成

AI計算能力は大幅拡大しセキュリティ需要も急増

＜エヌビディアGPU「H100」で換算した主要IT企業のAI計算能力推定＞



各種資料より岩井コスモ証券作成

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

播陽証券

- ・新薬開発には、一般的に10年以上の歳月と数十億ドル(約3,000億円以上)の巨額コストを要し、低い成功率が構造的な課題となっていた。
- ・AIモデルの進化によって開発期間の短縮とコスト削減を実現、創薬ビジネスを劇的に加速させ始めている。特に「基礎研究」フェーズ(標的発見や化合物設計)において、AIの導入効果が最も顕著に現れている。AI技術によって最も革新をもたらす分野は創薬産業となる可能性がある。

創薬プロセス

基礎研究

- ・病原の解明、そこから標的とするタンパク質を特定
- ・標的タンパク質の立体構造に結合できる化合物の候補を探す

非臨床試験

- ・候補化合物について、細胞や動物実験
- ・有効性(効能、副作用、毒性など)を調査

臨床試験/治験

- 第1相:少数を対象に「安全性」確認
- 第2相:少数を対象に「有効性」確認
- 第3相:多数を対象に「安全性」「有効性」確認

承認申請と審査

量産・流通

リレー・セラピューティクス	RLYB
アブサイ	ABSI
ツイスト・バイオサイエンス	TWST
タンゴ・セラピューティクス	TNGX
レボリューション・メディシNZ	RVMD

< 従来の創薬期間・成功確率・コスト割合 >

フェーズ	期間	成功確率	コスト割合	
基礎研究	2～5年	0.01～0.05%	15～20%	
非臨床試験	3～5年	10～20%	10～15%	
臨床試験(1相)	3～7年	60～70%	60～70%	(10%)
臨床試験(2相)		30～40%		(25%)
臨床試験(3相)		50～60%		(65%)
審査・承認申請	1～2年	85～90%	5%程度	

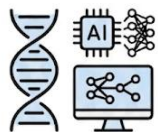
各種資料より岩井コスモ証券作成

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

播陽証券

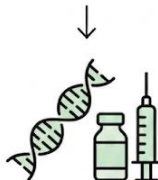
- ・モデルナが牽引する「オーダーメイドがんワクチン」は、患者のゲノム解析とAI予測で固有の変異標的を特定し、専用mRNAを設計する革新技术。がん治療を既製品から完全個別化へと導く、象徴的事例となった。
- ・その他、立体構造を予測し未知の抗体をゼロから生成する「De novoタンパク質設計」、生成AIが数十億の化合物から新薬候補を高速探索する「低分子創薬」、電子カルテから成功率の高い患者群を導き出す「治験マッチング」等も注目される。今年はAIが分子設計から治験まで主導する新時代の幕開けの年となりそう。

オーダーメイドがんワクチンの仕組み



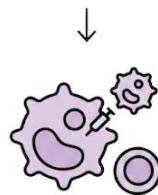
1. AI解析

患者固有の遺伝情報をAIで解析し、がんの特徴を特定



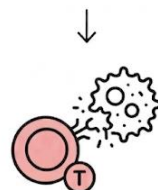
2. ワクチン製造

解析結果に基づき、特異的なmRNAワクチンを設計・製造



3. 免疫の学習

ワクチンを投与し、体内の免疫細胞（T細胞）にがん情報を学習させる



4. がんの攻撃

学習したT細胞が、体内のがん細胞だけを特異的に攻撃・除去

各種資料より岩井コスモ証券作成

オーダーメイドがんワクチンの関連銘柄

銘柄名	時価総額	前期売上高	年初来騰落率
モデルナ(MRNA)	794億ドル	19.4億ドル	+574.4%
迅速なコロナワクチン開発で有名。患者ごとに腫瘍のDNAを解析して専用の設計図(mRNA)を合成・投与する、個別化がんワクチン「mRNA-4157/V940」の開発と製造を牽引する。			
メルク(MRK)	3,671億ドル	650.1億ドル	+41.3%
米製薬大手。同社の「キイトルーダ」等の免疫チェックポイント阻害薬は、T細胞のブレーキを解除し、mRNAワクチンの攻撃力を最大化する併用療法として必須の役割を担う。			
ツイストバイオ・サイエンス(TWST)	121億ドル	3.8億ドル	+476.4%
シリコンチップ上でDNAを化学合成し製薬会社や研究機関にオーダーメイドで販売。患者ごとのネオアンチゲン(がん固有の変異)の配列情報を迅速に化学合成し、個別化治療の開発基盤を支える。			
テンパスAI(TEM)	153億ドル	12.7億ドル	+44.0%
医療特化型のデータ・プラットフォーム企業。ゲノム解析とAIを駆使し、自社基盤でネオアンチゲンやHLA型(免疫の型)を予測・特定する。数万の候補からT細胞を強力に活性化する標的を厳選する。			
イルミナ(ILMN)	408億ドル	43.4億ドル	+105.9%
次世代シーケンサー(NGS)の世界最大手。患者の正常組織とがん組織のDNA/RNAを高精度に解読し、がん特有の変異を洗い出す解析プロセスの起点となる。			

各種資料より岩井コスモ証券作成 注：9月25日時点

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

- ・量子コンピュータの実用化を目指し、超伝導・イオントラップ方式は開発で先行する一方、極低温環境や複雑な配線・制御構造など、大規模化に向けた物理的限界に直面。中性原子・光量子・半導体方式物理的なボトルネックを回避できる構造を持ち、中長期的に強い期待が寄せられている。
- ・社会的・商業的価値を生む量子コンピュータの実現は、市場予測では2030年代半ば以降になると見られており、政府支援や各社の開発努力を通じた実用・商用時期の早期化に期待したい。

デファクトスタンダードは未定、依然、本命不在

<量子コンピューターの方式>

イオントラップ方式

＜特徴＞真空中に電場や磁場で固定した「イオン」を量子ビットとして利用する方式。個々のイオンに精密なレーザー光を照射して状態を変化させ、計算を行う。量子ビットに個体差がない。量子状態を維持しやすい。

＜課題＞計算速度(操作速度、集積化の物理的限界)

超電導方式

＜特徴＞極低温(約-273℃)に冷却した超電導回路内に作り出した「人工原子」を量子ビットとして利用する方式。既存の半導体プロセスを応用してチップ状に作製し、マイクロ波パルス照射して高速に状態を制御する。

＜課題＞計算規模(量子の状態寿命・個体差、集積化の物理的限界)

中性原子方式

光ピンセット(レーザー)で数千個以上の原子を3次元的に並べ替えが可能で、量子ビットの超高密度化に長ける。

光量子方式

「常温・常圧」で動作可能であり、巨大な冷凍機が不要な点が最大の強み。既存の光通信・半導体製造技術を転用でき、構想される量子インターネットとの親和性も極めて高い。

半導体方式

既存のスマホやPC用チップを作る半導体工場をそのまま活用できるため、将来的に量産化・小型化が期待される。

各種資料より岩井コスモ証券作成

量子技術は飛躍的な計算能力を有するも「黎明期」

<先行する主要量子プロセッサの性能>

プロセッサ(開発企業)	方式	計算規模Q	計算速度Ω
Quantinuum Helios-1 (QNT)	イオントラップ型	1,504	303
Willow (GOOGL)	超電導型	216	2,000万
ibm boston (IBM)	超電導型	204	31万

*分子シミュレーションに必要なスコア: Q>3.5億かつΩ>800

*現代の鍵暗号解読に必要なスコア: Q>2.5億かつΩ>5700

<主要関連銘柄>

注: 9月25日時点

ティッカー	銘柄	年初来騰落率	時価総額(百万円)	方式
GOOGL	グーグル	+10%	4,190,440	超電導
IBM	IBM	-24%	212,461	超電導
RGTI	リゲッティ	-25%	5,561	超電導
QNT	クアンタニウム	-27%*	13,042	イオントラップ
IONQ	イーオンキュー	+1%	18,426	イオントラップ
PSQL	パスカル	-30%*	1,484	中性原子
XNDU	ザナドゥ	-54%	1,516	光量子
INTC	インテル	+233%	650,191	半導体

*QNTは6/4、PSQLは1/28に上場初値より計算

各種資料より岩井コスモ証券作成

投資に関する最終決定は、ご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断で、今後、予告なしに変更されることがあります。株式は値動きのある商品であるため、元本を保証するものではありません。

■商号等

商号等： 播陽証券株式会社
金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第29号
加入協会：日本証券業協会

取引注意事項

■播陽証券の手数料及び投資リスクについて

- ①上場国内株券等委託取引の際には、約定代金に対して最大1.2265%（税込み、ただし最低2,750円）の委託手数料をご負担いただきます。
 - ②上場外国株券等委託取引の際には、一律、約定代金（円貨）の2.2%（税込）の委託手数料及び現地取引所税等の取引手数料をご負担いただきます。
 - ③上場外国株券等店頭取引の際には、購入対価のみをお支払いいただきます。
 - ④投資信託のお取引の際には、下記の販売手数料及び信託報酬等の諸経費をご負担いただきます。
 - ☐販売手数料（購入価額に対して最大3.85%（税込））
 - ☐信託財産留保額（換金申込日、または換金申込日の翌営業日の基準価格に対して最大0.50%）
 - ☐信託報酬（信託財産の総資産総額に対して年率最大2.2%（税込））
 - ☐その他、ファンドの監査費用等
- ◇株式や投資信託は投資元本が保証されているものではなく、価格や為替の変動により損失が生じるおそれがあります。商品ごとに手数料等やリスクは異なりますので、お取引の際には、契約締結前交付書面やお客様向け資料をよくお読み下さい。

■免責事項

- 当資料は、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としております。当資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて播陽証券がお客様にご提供いたしますが、見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。
 - ※本資料の情報の一部は、岩井コスモ証券株式会社より取得しております。
- 当資料の情報を基に投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、播陽証券は理由の如何を問わず、一切責任を負いません。